

「いやしの空間プロジェクト」活動の記録

【和の庭園への取り組み】

今回は和のテイストを取り入れた庭園への取り組みです。平成23年4月に2つの庭園が完成した時点で資金の残はほぼゼロでしたが、宗教法人大石寺様とみやしん地域振興協力基金の特別な支援をいただけることになったこと、また、県のユニバーサル化補助金が使えること、さらにはメンバーの一人が所属する県緑化組合の補助事業を適用できることなどの条件が整ったため、和の庭園に取り組むことができました。

しかし、平成23年3月の東日本大震災、静岡県東部の震度6強の地震などにより、市民や企業、団体に寄付をお願いできる状況ではなかったため、プロジェクトがイメージする和の庭園を実現できるかが不安でした。

理想とするデザインのイメージを崩さずに、費用のかからない庭づくりの検討が必要となりました。市民等への寄付のお願いと並行して、デザイン変更、詳細の検討をすすめ、施工方法によってはなんとか実現の目処がたちました。更に費用を抑えるためには、早い段階で業者を決定して施工方法を工夫する必要があったため、イングリッシュガーデンで施工していただいたナカザワ住建を施工業者と決めました。デザイナーとの打合せなどを徹底してやっていただき、本物を使いながら、しかも安い費用で庭造りが可能となりました。

今回完成した和の庭園には、プロジェクトメンバーの熱い思いとデザイナーや施工者の実現させたいという思い、そして、この計画を支援してくれた皆様の暖かな思いが凝縮されています。

また、資金が限られていたこともあり、旧庭の伐採、抜根、土入れ、植栽など、多くのボランティア作業を病院内外の人たちをお願いいたしました。このボランティア作業なくして今回の庭園は完成しなかったと思います。関係したすべての皆さまにお礼申し上げます。